

< 上部内視鏡検査についての説明書 >

説明医師

同席看護師

説明年月日

年 月 日

[説明内容]

病名:

検査名: 上部内視鏡検査

予定している手術により期待される効果と限界

上部内視鏡検査は、食道・胃・十二指腸の病気(胃がん、食道がん、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、食道炎など)の診断が目的です。

予測される合併症とリスク 及び それに対する対応策

上部内視鏡検査は比較的安全な検査ですが、検査に伴う偶発症が起こり得ます。偶発症の頻度は0.0005%です。偶発症の代表は出血です。出血は通常少量で短時間に止血しますが、状況により入院治療が必要になることがあります。他の偶発症として感染症、薬剤による副作用などがあります。上部内視鏡検査での死亡率は0.00019%とされています。(日本消化器内視鏡学会偶発症全国調査報告2010年度より)

手術をしない場合に予測される症状の推移とリスク

症状の評価が不十分となり、治療が必要な病態があった場合悪化する可能性があります。

代替可能な他の治療法

バリウム検査

(身体にエックス線を照射する検査ですので少量ですが放射線被ばくがあります)